

みさき自然公園通信

守山市営美崎公園パークセンター
2018.3.5 (No.4) 12~3月
平成 29年 12月 23日

はじめてのバードウォッチング inみさき自然公園



ベニマシコ 下(雄) 上(雌)

出現鳥

- アオサギ
- バン
- オオバン
- タシギ
- キジバト
- トビ
- コゲラ
- モズ
- ハシホソガラス
- ハシブトガラス
- シジュウカラ
- ヒヨドリ
- ウグイス(声)
- エナガ
- ムクドリ
- シロハラ
- ツグミ
- ジョウビタキ
- スズメ
- ハクセキレイ
- カワラヒワ
- ベニマシコ
- ホオジロ
- アオジ
- ピンズイ



ジョウビタキ



エナガ



コゲラ



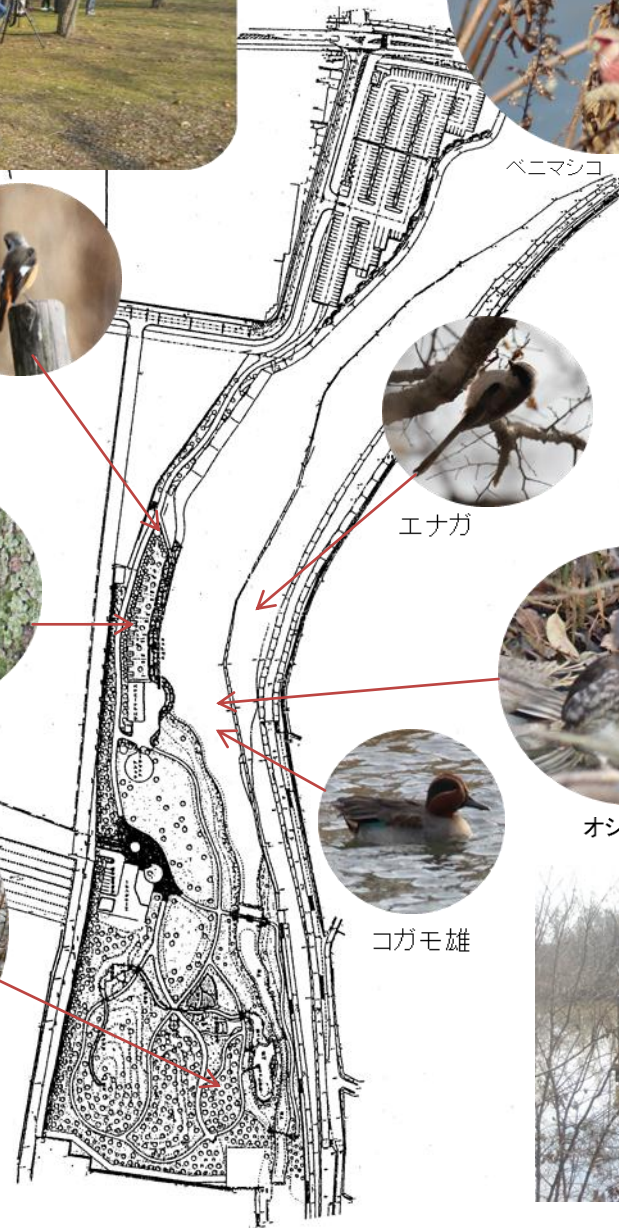
オシドリの雌



コガモ雄



カワラヒワ



平成29年12月23日 日本野鳥の会滋賀と美崎公園共催の初心者向けバードウォッチングの会開催
野鳥の会会員+初心者合わせて42人参加。はじめに双眼鏡の使い方を教えてもらって、園内の水鳥や樹上の小鳥を観察しました。この公園にもいると教えてもらって 初めて見た鳥:オシドリの雌、タシギ 初めて聞いた:ベニマシコの声 おおぜいの人と一緒にまわって気付くことができたことに感動と喜びがありました。野鳥の会の最後のプログラムに「鳥合わせ」があり、当日の出現 35種 が確認されました。



冬的美崎公園風物詩

守山市で一番高いところ標高 100 ㍎のみさき山に今年も大雪が積りました。そこへ集まってきたのはソリ遊びの小さいこどもたちだけでなく、スノーボードを持った家族連れの姿もありました。みんなが帰ったあとは、さながら白銀にシュプールを描くスキー場のようでした。

みさき自然百景



ヨシ刈り体験の日に・・・ヒドリガモの落し物？を観察する小

学 4 年生



みさき自然公園で寒い冬を過ごし、北の方へ帰っていく鳥たちが、まだ出だしたばかりの緑の芽を一生懸命ついで体力をつけています。春を待つ草原一面にふんわりとおとされた緑のフン。(実はフンではなくて食べきれなくて口から出したもの：ペリット) 一番最後に北へ帰る渡り鳥〈ヒドリガモ〉のおきみやげです。人が近づくとすぐに川の中へ避難できる安心してらせる美崎公園の川辺、実はこの川は旧野洲川の南流が自然環境を学習する場としてこの公園に残され、近くの学校から(遠くは大津の小学校からも)郷土学習「びわ湖に流れる水にかかわる人たちの暮らし」やヨシ刈り体験のために毎年美崎公園に学習にきています。



昔の暮らし体験「わら草履づくり」

雪が深く外仕事ができない時、家の土間でわら草履や籠など必要な道具作りをする生活、そういう昔の暮らしを体験する教室に多くの人たちが美崎公園に集まりました。講師を務める地元の人たちも、事前に講習会を開いて修得いただいていることも含め、こうして伝統が引き継がれていくことに感謝しながら全5回の米づくり体験教室を終了しました。



伝統を受け継ぐ体験教室

平成 30 年 2 月 17 日

2月の半ば、北陸東北で身動きができないほどに雪が積もる豪雪の中、昔ながらのわら草履づくりをしました。

最終回

◎美崎公園利用者 2 万 2 千人超え、ご来園ありがとうございました。

まだ 1 年は終わりきっていませんが、1 年間を集計すると来園者総数が約 2 万 2 千 5 百人となります。目的別に見ると、環境学習・自然体験教室 (28 教室 1,279 人)、夏休みこども教室 (11 教室 448 人) 米づくり体験教室 (5 教室 186 人) 各種団体学習会等 (19 件 984 人) 保育園・幼稚園・学校等自然体験活動 (4 1 件 1,776 人) キャンプ場利用 (286 件 4,408 人) レンタサイクル (505 人) で、その他フリーマーケット等を含む指定管理者提案事業に参加いただいた人 (12 行事 4,915 人) や園内散策や遊具あそび等にも多くの来園者がありました。多くの方々にご利用をいただきありがとうございました。